

# 令和5年8月定例記者会見

令和5年8月25日（金）

## 冒頭コメント

お集まりいただきありがとうございます。

発表項目に入る前に、いよいよ9月1日から、おおいパートナーシップ宣誓制度の運用が始まります。要綱も出来上がりましたし、市職員への説明も終わったところです。これが9月1日からスタートします。

## 1 発表項目

### 《1. 大分市名誉市民 故磯崎新氏の追悼行事について》

大分市名誉市民であり、世界的建築家の磯崎新さんが、今年の12月28日に御逝去されました。磯崎さんの追悼行事を10月7日午後1時から、場所はアートプラザで行います。

追悼行事は2部構成となっております。まず、追悼式を午後1時から、アートプラザ2階の60'sホールで執り行います。

出席者は100名程度としており、御案内する方々につきましては、市議会議長をはじめ、市議会議員、磯崎氏にゆかりのある方々を考えています。

式典の内容としましては、黙とうの後、献花、来賓者等による追悼の辞、磯崎新氏の業績紹介などを行います。

また、一般献花ということで、市民の皆様が弔慰を示す場として、10月7日午後2時から10月9日午後5時まで献花台を設置することとしています。御弔意につきましては、一輪の花に託してお持ちいただきたいと考えておりますので、よろしくお願ひします。

そして、追悼式に引き続きまして、シンポジウム「「磯崎新の謎」をよみとく」を午後2時から、アートプラザ2階のアートホールにて開催します。遺族の方々の希望で、あまり大きな追悼イベントは希望されていないということ聞いておりますので、追悼式が一旦終わった後に、シンポジウムを開催します。

シンポジウムはパネルディスカッション形式で行います。コーディネーターとして、京都芸術大学教授の浅田彰氏、パネリストとして京都市京セラ美術館館長の青木淳氏、東京大学大学院総合文化研究科教授の田中純氏、東京藝術大学大学院映像研究科教授の高山明氏をお迎えします。この四氏は、いずれも生前の磯崎氏と親交のあった方々であり、磯崎氏の生前の功績などを振り返り、磯崎新の謎を読み解いていただきたいと考えています。

このシンポジウムには、追悼式の出席者のほか、市民の皆様にも参加していただきたいと考えています。募集定員は100名となっており、募集要項は資料に記載のとおりでございます。応募者多数の場合は抽せんとなります。

追悼式のほうに参加された方も、若干数が減る可能性もありますので、100名は超えることになるかなと思っています。

最後に、磯崎氏に関連する展覧会を資料に記載のとおり開催することとしています。シンポジウムに参加される方々はもちろん、市民の皆様ぜひ御覧いただければと思います。

## 《2. ～アート的美力、地域の魅力～「アートレジオン・コレクション」を開催します》

続いて、2点目はアート的美力、地域の魅力「アートレジオン・コレクション」を開催しますということで、お手元の資料を御覧ください。

本市では、周辺地域に市内外からアーティストを呼び込み、旧校舎アトリエを活用した制作活動やイベント等を行うアートレジオン推進事業を進めています。その一環として、アートを通じて地域の新たな魅力を発見してもらい、実際に地域を訪れる機会を創出するため、地域で活躍するアーティストによる大南、佐賀関、野津原の3地域をテーマにした作品展示のほか、ワークショップ、アーティストトークなどのふれあいイベントを盛り込んだ展覧会「アートレジオン・コレクション」を開催します。

期間は、9月16日（土曜日）から9月24日（日曜日）までの9日間で、場所はアートプラザ2階のアートホール、参加アーティストは資料に記載の9名になっております。

内容ですが、3地域をテーマにした作品展示は、期間中の午前10時から午後5時までで、入場無料となっております。ワークショップについては、事前申込みが必要なものが9月16日から18日までと23日に資料に記載の内容で行います。

なお、現在、参加者を募集中で、大分市ホームページの参加予約フォームから9月6日まで応募を受け付けています。

また、事前申込みが不要なワークショップとして、9月24日（日曜日）に「オリジナル塗り絵コーナー」を開催します。こちらは、当日どなたでも自由に参加できます。

次に、アーティストトークということで、「アート×地域の魅力について」をテーマに、9月16日と24日にそれぞれのアーティストが語り合います。

次に、アーティストとの集いについてですが、9月22日（金曜日）の午後6時から、本イベントの参加アーティストと来場者が共に作品を鑑賞しながら、3地域の魅力を自由に懇談していただくものです。こちらは定員が30名で、事前の申込みが必要です。本日から9月10日（日曜日）まで、大分市ホームページの参加予約フォームから申込みを受け付けます。

最後に、その他ですが、期間中、会場でアンケートに回答していただいた方に、オリジナルコットン巾着袋をプレゼントします。また、9月15日（金曜日）の午後3時から、会場となるアートプラザ2階のアートホールで報道関係者向けプレオープンを行います。詳細については改めてお知らせしますので、ぜひご参加いただければと思います。

## 《3. 今年で開催10周年！「OITAサイクルフェス!!!2023」を開催します》

3点目はOITAサイクルフェス!!!2023の開催についてです。

UCI国際自転車競技連合公認の自転車ロードレースとして、国内12チームと海外6チームを招聘し、OITAサイクルフェス!!!2023を開催します。

今回は、開催10周年を記念し、ストライダーエンジョイカップ大分ステージや大分クリテリウム甲子園などのイベントも実施します。

まず、UCI公認自転車ロードレースのレース概要ですが、おおいたいこの道クリテリウムを9月30日（土曜日）に、そして、おおいたアーバンクラシックを10月1日（日曜日）に開催します。おおいたアーバンクラシックは、UCIアジアツアーに位置づけられる大会となっております。なお、レースの詳細については資料に記載のとおりです。

出場チームについては、国内からは地元大分のスパークルおおいたレーシングチームをはじめ

とする12チームと、海外からは6チームの計18チームのUCIコンチネンタルチームが参加します。チーム名については、資料に記載のとおりとなっています。なお、海外の残り2チームについては、現在、調整中です。

ライブ中継については、本大会のプレゼンティングサポーターでもありますJ:COM大分ケーブルテレコムとの協力の下、J:COMチャンネル大分、J SPORTS及びOITAサイクルフェス公式YouTubeチャンネルでレースの様相をライブ中継します。

次に、10周年記念イベントについてです。

まず、ストライダーエンジョイカップ大分ステージをパークプレイス大分で開催します。1歳半から6歳までの子供を対象に、幼児向けのペダルのない自転車―ストライダー―を使用したストライダージャパン公認レースを大分で初開催します。

次に、高校生自転車レース「おおいたクリテリウム甲子園」ということで、九州内の自転車競技の強豪校が参加して、おおいたこいの道クリテリウムのコースを使用した高校生のレースを初めて行います。

競輪選手のエキシビションレースを同じくクリテリウムのコースで実施します。男子選手に加えて、ガールズ競輪の選手も参加し、エキシビションレースなどを開催します。

そして、10周年記念スペシャルゲストとして、ツール・ド・フランスなどのグランツールを日本人で初めて走破した別府史之さんをお迎えし、トークショーなどを実施します。

また、大会当日に販売するオフィシャルガイドブックを購入した人には、10周年記念ノベルティグッズとしてカウベルのプレゼントもあります。

関連イベントとして、大分こいの道では9月30日（土曜日）と10月1日（日曜日）の2日間、大分スポーツ公園周辺では10月1日（日曜日）に様々なイベントを実施します。詳細は資料に記載のとおりです。

最後にその他として、10月1日（日曜日）には、大分駅からパークプレイスまで無料のシャトルバスを30分に1本の間隔で運行します。ぜひシャトルバスを利用して、おおいたアーバンクラシックを観戦していただければと思います。

#### 《4. 令和5年度9月補正予算（案）の概要》

次は補正予算の説明です。9月1日に開会される令和5年第3回大分市議会定例会に提出予定としております9月補正予算の概要について、お手元にあります資料「令和5年度9月補正予算（案）のポイント」に沿って説明します。

もうお気づきの方も多いと思いますが、府内城跡の西側土堀が雨の影響で一部崩落しており、先日の台風でその内側も剥離している状況となっています。今回の一般会計の補正予算は、この復旧経費として1億3,000万円を計上しています。

内容につきましては、歳出から説明します。

社会教育施設災害復旧事業として1億3,000万円を計上しています。

本年6月30日から7月5日にかけての大雨の影響により、大分城址公園にあります県指定史跡府内城跡の西側土堀の一部が崩落しました。また、崩落した箇所以外に傾きや亀裂があるほか、今月9日から10日にかけての台風6号の影響により、新たに白壁の剥離があり、それらを要因として土堀がさらに崩落するおそれがあることから、西側土堀約60メートル全体にわたり復旧工事を行い、文化財の適切な保護、保存を図ります。

事業費の内訳としましては、設計業務等の委託料として1,440万円、工事請負費として1億1,560万円となっています。

今後のスケジュールとしては、応急措置として崩落防止対策を行った後に、文化財であることから、土塀の構造調査をした上で12月までに設計委託を行い、年明けの1月頃から復旧工事を開始する予定です。

また、年度内に工事を完了させることができないことから、併せて繰越明許費の設定を行います。

なお、この土塀は、今からおよそ400年前、1597年に建設された府内城西之丸の土塀で、昭和38年2月15日に県の史跡に指定されたものです。本格的な保存修理工事を昭和41年、1965年に本市が行い、現在まで保護してきたところです。

歳入についてですが、今回の財源としては、国庫支出金を9,100万円、地方債を3,900万円計上しています。

9月補正予算（案）の概要については以上です。事業の詳細等につきましては、後ほど財政担当より説明をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

#### 《新型コロナウイルスワクチン 令和5年秋開始接種について》

続いて、机上配付の資料ですが、まず、新型コロナウイルスワクチンの令和5年秋接種開始（9月20日から令和6年3月31日）についてです。

このたび、国から令和5年秋開始接種を9月20日から開始する方針が出されましたので、現時点での本市の接種体制についてお知らせします。なお、秋開始接種で使用するオミクロン株XBB.1.5対応1価ワクチンについては、ファイザー社及びモデルナ社が薬事承認申請中であるため、資料に記載の内容は現時点での予定となります。国の最終的な結論は、9月初旬の分科会において得ることになっています。

まず、対象者についてですが、初回接種が終了した全ての人としており、対象者数は約33万5,000人となっています。

次に、接種券発送についてですが、去年、令和4年秋開始接種または令和5年春開始接種を受けた方に対して、9月6日（水曜日）以降、順次お送りすることとします。お手元に未使用の接種券がある方は、そのまま使用することができます。

次に、使用するワクチンですが、現在の流行主流株であるオミクロン株XBB.1.5に対応した1価ワクチンを使用して行うこととしています。これにより、重症化予防効果はもとより、発症予防効果の向上が期待されると考えられています。

先週の定点報告で、大分市は24.88、実人数は大体300程度ですから、先週、先々週、その前から減少傾向にあるということをお伝えしておきます。

次に、接種予約についてですが、受付開始日は9月6日（水曜日）で、これまで同様にWeb、コールセンター、医療機関での直接予約、各支所等に開設する予約サポート窓口で行います。

次に、接種場所についてですが、集団接種センターとして、大分こども病院で9月20日（水曜日）から、帆秋病院において10月4日（水曜日）から接種を行う予定としており、その他、植田、大在、大南の各支所においても接種会場を設ける予定としています。また、個別の医療機関では、9月25日（月曜日）以降、準備が整った医療機関から順次接種を開始します。

本市としましては、接種を安定的かつ円滑に進めるため、帆秋病院会場ではモデルナ社製のワクチンを使用し、大分こども病院とそのほかの接種会場ではファイザー社製のワクチンを使用し、行うこととしています。

次に、オミクロン株XBB.1.5に対応した1価ワクチンの本市への供給についてです。

現在のところ、10月15日までに、ファイザー社製6万6,480回分、モデルナ社製1万7,200回分の合計8万3,680回分が供給予定となっています。

今後、接種券の発送スケジュール等、接種に関する最新の情報については、市報やホームページを通じて市民の皆様へ分かりやすくお知らせするとともに、引き続き、県や大分市連合医師会等の関係機関と連携を図りながら、接種を希望される方が安心して接種を受けることができる体制を整備してまいります。

### 《大分市プレミアム付き商品券（第4弾）について》

次は、大分市プレミアム付き商品券（第4弾）についてですが、来週8月28日（月曜日）から、購入事前申込みの受付を開始します。これは、大分商工会議所が実施主体となって受付を開始します。

商品券は紙と電子の2種類、発行総額は40億400万円、発行総数は30万8,000冊となっており、前回の第3弾と比較して、発行額、発行数ともに2倍となっています。

購入対象となる方は大分県内在住者で、1冊当たりの額面1万3,000円の商品券を1万円で販売します。この1万3,000円の内訳は、大型店でも利用可能な全店舗共通券が6,000円、中小・小規模店舗専用券が7,000円となっています。

購入事前申込みは、大分商工会議所ホームページ内の特設サイト、または市内9か所の窓口サポートセンターで、9月8日（金曜日）まで受け付けます。

1人につき、紙または電子商品券のいずれかを4冊まで申込みできます。

なお、購入申込み数が発行数を上回った場合の抽せん方法について、これまでは購入できる方と購入できない方を抽せんで決定していましたが、購入できない方を極力なくし、できるだけ多くの方に購入していただけるよう、抽せんによって購入者数を決定する方式に見直しました。

資料の裏面、紙と電子のそれぞれにおいて購入申込者数が発行数を上回らなければ、購入申込みをした対象者は少なくとも1冊は購入できます。

販売期間は10月1日（日曜日）から21日（土曜日）まで、利用期間は10月1日（日曜日）から12月31日（日曜日）、年内いっぱいまでとなります。

### 《大分市宅配ボックス設置補助事業（2023（令和5）年度）～既設住宅への宅配ボックスの設置費用を補助しています～》

次に、宅配ボックスの設置費用補助及び省エネ家電の購入費用補助についてです。

宅配での再配達を抑制させ、物流における温室効果ガス排出削減を図ることを目的として、既設住宅に宅配ボックスを設置した方に対して、その費用の一部を補助するものです。

申請は、市役所本庁舎4階の環境対策課の窓口や市のホームページからの電子申請、郵送で受け付けており、8月1日の受付開始以降、8月23日現在で既に19件、45万3,000円の申請をいただいています。

補助率は3分の1となっており、戸建て住宅は上限3万円、集合住宅は上限30万円まで補助

します。

補助の対象は、令和5年8月1日以降に購入し、設置した宅配ボックスの購入及び設置にかかる費用となっています。

#### 《令和5年度大分市省エネ家電購入促進事業～省エネ家電の購入を補助します～》

次に、「省エネ家電の購入を補助します」というチラシをご覧ください。

これは、原油価格・物価高騰による家計負担の軽減と地球温暖化対策を推進するために、省エネ性能の高い家庭用のエアコンと冷蔵庫を購入した方に対して、その費用の一部を補助するものです。

申請は、本日8月25日から、市役所第2庁舎1階の特設窓口や市のホームページからの電子申請、郵送で受け付けています。

補助率は3分の1で、1世帯当たり3万円を上限として補助します。

補助の対象は、本年8月25日以降に購入された省エネ基準を満たすエアコン、または冷蔵庫の購入費となっています。

これらの事業の詳細については、環境対策課にお問い合わせください。

#### 《映画「春に散る」公開記念 瀬々敬久監督の舞台挨拶の実施について》

次に、映画「春に散る」公開記念、瀬々敬久監督の舞台挨拶の実施について。

大分市ロケーションオフィスが誘致、撮影支援を行った「春に散る」が本日から全国公開されます。佐藤浩市さん演じる主人公と橋本環奈さん演じる主人公の姪の故郷として、本市が登場します。

本市では、これを契機に、大分市ロケ地ガイドや、大分市オリジナルポスターを制作し、市内外の各所で配布、掲出するなどのプロモーションに取り組んでいます。

このたび、映画公開を記念して、瀬々敬久監督が大分に凱旋し、明日26日に舞台挨拶を行っていただけることになりましたので、お知らせします。

TOHOシネマズ大分わさだでは午前10時からの回、T・ジョイ パークプレイス大分では午後1時からの回、共に上映後の登壇となります。

最前列に記者席を設けていますので、ぜひ皆様にも御参加いただければと思います。

#### 《こうぎき海水浴場シャワー室の鏡などの被害について》

最後に残念なことですが、こうぎき海水浴場のシャワー室の鏡と洗面台が破壊され、使用できない状況になりました。洗面台はもう1台ありますので、手洗い等はできる状況ですが、破壊された1台につきましては、今のところ使用禁止としています。8月22日（火曜日）にこれが発覚しました。

## 2 質疑応答

### 《こうぎき海水浴場シャワー室の鏡などの被害について》

- 記者 こうぎき海水浴場シャワー室の鏡などに被害があったことについて、市長はどのように感じているのか教えてください。
- 市長 この施設自体は県所有ですが、管理は大分市で、それをNPO団体に委託しています。このシーズンにこういうことが起きて、NPO団体の方が発見してすぐに警察に届けて、そこから市へ連絡があったという経緯ですが、どのような意図でこうしたことをしたのか分かりませんが、非常に残念です。公共物ですので、しかもシーズンということもありますし、残念としか言いようがないです。
- 記者 22日に発覚したということですが、発表が今日になったのはなぜですか。
- 市長 被害届を提出するかどうかの最終的な判断が今日になったということです。実際は、被害届を提出して、しっかり捜査してもらおうと思っているところです。現地に市職員が行って確認したのが火曜日の午後6時頃で、昨日、おとといと時間を要しているのですが、通常から行くと遅れたといえれば遅れたということですかね。
- 記者 被害届まで待たずとも、事案が発生したら速やかに発表していただけると助かります。
- 市長 そうですね。県所有の施設ということもあって県との調整の時間もありましたが、一報は早いほうがよかったと思います。どうもすみません。

### 《1.大分市名誉市民 故磯崎新氏の追悼行事について》

- 記者 磯崎さんは大分市にとってどのような存在だったか、そして、市長としてどのような思いで追悼行事に臨まれるか、改めて教えてくださいませんか。
- 市長 磯崎さんの功績で私が最初に知ったのは、私が長年住んでいたつくば市のつくばセンタービルです。19年前に大分に戻ってきて、アートプラザもそうなのかと。皆さんとは順番が逆だと思えますが。そういうことがあって、磯崎さんの関わられたものを多少なりとも見てきましたが、非常に大切にされているところもあれば、もう使用されてないところもある中で、ただ、彼が残した建築だけではない、科学の分野も内包するような取組ですので、もちろん名誉市民になっていることもありまして、偉大な方だと思います。私の知人で、彼と同じ東京大学工学部出身で、日本の図書館建築の第一人者の方がいまして話をしました。機能美と構成美を追求された形というのでしょうか、最近ではなかなかあれだけ余裕を持った建築は難しいのかなという感想を持っています。今回それほど大きな行事にしなかったのは、遺族の方々があまり大きなものにしないでいただきたいという意向がありましたので、今回のような形にとどめましたが、業績としては多大なものがあると認識しています。また、世界に対しても、後世の方々、自分の弟子といえますか、その方々に対する影響力も相当大きなものがあると思います。今、アートプラザに展示がありますが、貸し出しされているものが数多くあるということからも、世界中で磯崎建築を見たいという思いが強いのではないのでしょうか。

## 《新型コロナウイルスワクチン 令和5年秋開始接種について》

記者 新型コロナウイルス感染症について、市長は医師の立場として5類移行後の感染者数の推移や現状についてどのように考えていますか。

市長 感染発覚後の対応もインフルエンザに似た状況になっていますし、認識としても恐らく皆さんは似たような感じに捉えている。これは5類に移行したからというより、それ以前から世界の様子を見ていて、どうして日本だけこんなに厳しいのかという感覚を持っていた方が非常に多いと思います。そこから行くと、今の状況は受入れが進んでいるように感じます。先週、東京出張があったのですが、大分市・大分県よりも、多くの方がマスクしていないという感じを受けました。

先ほど感染者数の話をしました。実際のところ、5月7日までは全数把握をしていたから無症状の方も入っていましたが、今は受診した方だけですから、実際はもっと多い可能性もあります。

ワクチンの件について言いますと、大体45%ぐらいが接種されるのではなかろうかという推定です。

ワクチン接種の意義についてですが、発表論文によると、XBB.1.5より前のタイプは自然感染した場合、日本人全体の6割ぐらいが自然感染した抗体を持っており、半年後に調べたら8割の抗体が維持されているということです。ただ、XBB.1.5については、半年後に調べたら3割ぐらいしか抗体を持ってないということです。

冗談半分に2回かかったら最強だと言っている方々もいるのですが、そうではなくて、抗体は下がってくるので、それを補う意味でも今回のワクチン接種は意義があるのではないかと考えています。

インフルエンザについても、私は毎年予防接種していますし、それと同じ感覚で今回接種すればという自分なりの感覚は持っています。

## 《1.大分市名誉市民 故磯崎新氏の追悼行事について》

記者 磯崎さんが亡くなられたのは去年ですから、市民の中には追悼行事の開催が遅いのではないかという声もあるかもしれませんので、この時期になった事情を教えてください。

市長 正確なところは担当課からよろしいですか。

担当課 亡くなられたのは昨年12月28日ですが、まず、ご遺族の意向確認に時間を要したということが一つあります。また、その後市長選等もあり、昨年度中は機会がありませんでした。なお、通常の公葬を実施するとしても、1か月超は期間を要することとなります。今回は10月の開催となったのですが、そのような諸々の調整等もありまして、この時期になったということでご理解いただけると助かります。

## 《その他 ホーバークラフトについて》

記者 午前中にホーバークラフトの1号機が到着しました。県としては年度内の就航を目指すとのことですが、市長は、年度内にできれば就航開始してほしい、このように活用してほしいといった考えはありますか。

市長 年度内就航という県の思いの大部分は、広瀬前知事をはじめとして、昨年度中に宇宙港としての1号機をとという思いが強かったですよね。それとの関係で急いだというところ



はあると思います。

私は1980年代から90年代の初めぐらいまで、親の看病というか見舞いも兼ねて、ホーバーを使って往復していました。一番心配なのは、天候が穏やかで波も荒くない場合はいいのですが、そうでないときは、周りの乗客が悲惨な状況になったのを何度も見えています。皆さんも一度は経験してみたいと思って利用していただけたらと思いますけれども、利用者が増えてほしいという希望は県も持っていると思いますが、私どもの役割としては、大分市に到着後、楽しめる状況をつくり出すことが大事ではないかと思えます。仮にホーバーを利用できなくても、大分市にもう一回行ってみたいと思えるような魅力ある市にしていくことが大事であると思います。